

平和首長会議インターンシップ講演会

インターンとして来日した平和首長会議の若手職員による講演会が、7月2日（火）に舟入高校国際コミュニケーションホールで行われました。

今年度は、サライエヴォ市（ボスニア・ヘルツェゴビナ）とタスマン市（ニュージーランド）の職員が来校され、1年8組（国際コース）の生徒と交流しました。はじめに、平和首長会議に関する説明があった後、8組の生徒5人が若手職員に向けて英語でプレゼンを行いました。プレゼンでは、舟入高校の歴史や取り組んでいる平和活動について紹介しました。



その後若手職員による講演があり、サライエヴォ、タスマン両市の歴史や文化の紹介がありました。クイズを交えながらの講演で、生徒たちも楽しく話を聞くことができました。講演が終わった後も、生徒たちは職員の周りに集まり次々に質問していました。



(写真左：サライエヴォ市出身のハルンさん、右：タスマン市出身のユリアさん)

講演会のあとは、剣道部と箏曲部の見学を行いました。剣道部では生徒から防具等の紹介があり、試合形式の練習を見せてくれました。また、箏曲部では部員のみなさんが職員にむけて、「打上花火」を演奏してくれました。演奏後は、箏に触れたり、箏を弾く際の箏爪を手にとって質問していました。職員の方々は直接日本の文化に触れ、とても感動した様子でした。



今回の講演会は、本校の生徒にとって、非常に有意義で貴重な体験になりました。今回来校してくださった平和首長会議の職員、および広島平和文化センター国際部の職員のみなさん、本当にありがとうございました。

